

JAXA の白木理事が資料 21-1(野口宇宙飛行士の任務完了)を 7 分弱で説明した後、6 分余の質疑応答があった。

池上委員長:で、白木さん、直接お会いになってるんでしょ。現地  
で。

JAXA 白木:私は、未だ会って居りません。実はですネエ、あの、モ  
スクワの管制センターで、ランディングの管制をやとりまして、  
私自身はモスクワに居りまして、唯、此のカラガンダ空港には  
樋口副理事長が行きまして、此の降りた所から、カラガンダ空  
港に到着した処で、樋口副理事長以下は会って居ります。

池上委員長:で、特にあの、変わった事無く?

JAXA 白木:ええ、元気な状態。まあ、降りて来た時はまあ、ふらふら  
って云うのがありましたけども、非常に元気になっておりまして、  
あの一、医者診断でも問題無いと言って居りました。エエト、  
実際に此のランディングした所には、JAXA の医者とですネ、  
若田飛行士と、もう一人 JAXA の職員が行とりまして、3 名日  
本人が行って、現地で降りた処で直接対応して居ります。

池上委員長:後あの、14 頁にですネエ、軌道上作業のスケジュー  
ルが書いてありますが、此れはアレですか、ホントに忙しい訳  
ですヨネ。

JAXA 白木:ええ、あの...

池上委員長:で、此れ見ますとネ、クルーの毛髪サンプル取得が 3  
カ月か 4 カ月掛ってるけど、此れは毎日毛髪を取ってる訳じ  
ゃないでしょ。

JAXA 白木:そうです。ただ、聞いている話では、非常に忙しかったと  
云うのは聞いております。其れはあの、先程のですネエ、6 頁  
の表に御座います様に、定常的な実験以外に、まあ、ステー  
ション・システムのメンテナンスと併せて、地上からプログレ  
スだのソユーズだのシャトルが飛んできますので、まあ、かな  
り忙しかったと云う風に聞いております。

青江:かなり忙しかったって、エホウ(?)が書いてあったんですが  
ネ、エエト、ISS 部会で、人間の目って云うのは結構役に立つ  
んだ、もっとうんと使ったら良いんじゃないかと、云う議論があ  
りましたですネエ<sup>1</sup>。現実的にそんな事ではネ、例えば、何か  
あった時に指令を出して、それで、此の火事を見といてくれと  
云う事で、行って見る。其れで何らかの報告をする。ま、何か、  
カメラで撮るのか何か知りませんが、そう云った事と云う  
のは、長期滞在をしようとする人にとっては、そんなにバーデ(?)  
にならずに出来る事ですか?

JAXA 白木:ええ、あの一、今回忙しかったと言いますのは、未だ組  
立フェーズで御座いますので、あの、ノード 3 と云う居住施設  
が来たりとかですネ、組立作業も結構あったりして忙しいんで  
すが、ま、定常的に組み上がってしまえばですネ、6 人おる範  
囲ではですネ、十分時間が取れると思っております。

青江:今言った様な事と云うのは、適宜出来る事だと。

<sup>1</sup> 白木理事が第 3 回だけを除く全ての ISS 特別部会に出席されて  
いるので、此の様な言葉づかいを青江委員が選ばれた。

JAXA 白木:緊急だから、一寸写真撮ってくれとかですネ、そう云う指令をすれば出来る話だと思います。

青江:と云う事はネ、かなりイージーに出来る?

JAXA 白木:イージーと言うか、まあ、当然あの、クルーの作業については色々監督・管理されてますので、その一、予定外の仕事を頼むには、其れなりの一寸手続きが要りますけども、其れだけで、その、手が離せないから無理だって話は無いと思っ  
て居ります。

池上委員長:今のに関連して、今度ESAの方で、あの、窓が沢山付いたキューポラが上がったんでしたっけ?

JAXA 白木:もう、去年、あの、シャトルで上がっております。

池上委員長:其れをじゃあ、調整をやってる?

JAXA 白木:エエト、キューポラはもう、

池上委員長:キューポラは12月に一緒に上がった訳ですネ。

JAXA 白木:ええ、あの、前回か前々回のシャトルで上がってる筈なんです  
が、で、あそこはまあ、元々監視、ま、外を見ると言うよりもロボットアームの操作を見る為の窓で御座いますので、唯、且つ地球方向が良く見える所に付いてるやに聞いておりますので、其処からの映像も、写真等も送られております。

池上委員長:ハアア、じゃあ、これからは寧ろ覗き易くなる?

JAXA 白木:そうですネ。

池上委員長:今迄よりはネ。

JAXA 白木:あの、視野が非常に広いと云う事です。.....あの、ロシアが、まああの、ランディング後に言ったのは、着陸の精度が非常に良かったと云う様な事を、力説して居りました。

池上委員長:で、其れは何か理由があつて...あの、そうだったんですか?

JAXA 白木:エエト、着陸の為の、あのまあ、落下傘開いてですネ、マヌーバリングを何か改善した様な事をチラッと居りましたが、どう云う事をやったかは分かりません。

池上委員長:ハア。何かでも、何れにしてもあの、彼等が最初域時に乗った、あの、ソユーズは、何か相当中、デジタル化して、従来とは違うんだって事言っていましたヨネエ。

JAXA 白木:ええ、あの、デジタル化と言うのはコンピュータのデジタル化を進めておりまして、現在あのプログレスと云う無人の方はコンピュータをデジタル化してるんですが、有人の方は其の結果を踏まえてですネ、実績を積んだ上でソユーズの方もデジタル化すると云うのは聞いてます。ただあの、デジタル・パネルと云うあの、クルーが操作する為のですネ、操作パネルがあるんですが、其れをデジタル化して居りまして、唯今回野口飛行士が使ったソユーズについては、古いままのパネルでですネエ、一部新しいものも使つて、其れがまあ両方流れてると。

池上委員長:何か...あの、若し御座いません様でしたら、どうも有難う御座いました。

JAXA 白木:はい、どうも有難う御座いました。